

レジャーや
帰省時は要注意!

夏の安全運転、3つの心得

①こまめに休憩し、居眠り・ぼんやり運転を防止!

- ★夏は「暑さ」で疲れやすく、特にレジャー時などは無理なスケジュールで運転しがちなため、居眠り・ぼんやり運転に陥る危険性が高くなります。
- ★出かける前日は早めに就寝し、長時間の運転はせず、こまめに休憩して、眠気を感じたときは仮眠をとりましょう。



②ドライバーは、出先でお酒を飲まない!

- ★レジャー時に飲酒するドライバーもいますが、ビール(5%)を500ml飲んだ場合、最低5時間は運転してはならないとされています。(厚生労働科学研究による)
- ★「ちょっとだけならすぐ酔いはさめるだろう…」と安易に飲酒するのは絶対にやめましょう。



③前席はもちろん、後部座席でも必ずシートベルト!

- ★シートベルト非着用の人が事故で死亡する確率は、着用者と比べると、運転席では40倍以上、助手席では約10倍、後部座席では3倍以上になります。
- ★シートベルトは、事故時に車外へ飛び出されたり、車内で全身を強打したりすることを防いでくれますので、必ず全席で着用しましょう。



身長150cm未満の子どもは、チャイルドシートを使用しましょう!

小さい子どもがシートベルトを使用すると、事故時に腹部圧迫などで致命傷を負う危険があります。

交通安全家庭新聞

2025年

夏

★夏は水難事故が多発しますが、交通場面でも、夏休み中の子どもが道路にとび出したり、レジャーや帰省で車の交通量が増えたりするなど、特有の危険による事故が多発しています。

★事故を防止するためには、どのような事故が多発しているのかを理解し、事故を回避するための「備え」をしっかり行いましょう。



「備え」はバツチリ!

令和7年夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

期間 令和7年7月16日(水)から7月25日(金)までの10日間

運動のスローガン 「大丈夫」 一番危険な 思い込み

年間スローガン わたります 止まるやさしさ ありがとう

運動の重点

- (1) こどもと高齢者の交通事故防止
- (2) 道路横断中の交通事故防止
- (3) 飲酒運転をはじめとした悪質・危険な運転の根絶
- (4) 自転車の交通事故防止とヘルメット着用・保険等加入の促進
- (5) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



泉崎村交通対策協議会
 泉崎村交通安全協会
 泉崎村交通安全母の会

どこで、どんな事故が多発しているのかな?

知って

どうすれば防止できるのかな?

備えて

無事故の夏!

★交通事故を防ぐためには、ただ漠然と「気をつけて」行動しているだけでは、不十分です。具体的に、どこで何を警戒し、どのような行動をすべきなのか—を知り、多発事故につながる危険に対してしっかり備えることが肝心です。

事故多発ポイント 1 閑散とした住宅街の道路

横断中の歩行者と車が衝突する事故が多発

◎住宅街の道路では、近隣住民の歩行者が「ここはめったに車が通らないから大丈夫だろう…」と油断しやすく、安全確認をせずにいきなり横断しがちなため、たまたまやってきた車と衝突する危険があります。



歩行者の「備え」

横断前に必ず一度立ち止まり、車が近づいてきていないか右左をしっかり確認してから横断しましょう!

ドライバーの「備え」

人通りが少ない道路でも「歩行者が不意に横断してくるかも…」と警戒し、歩行者を探しながら通行しましょう!

事故多発ポイント 2 住宅地に点在する信号のない交差点

自転車と車が出会い頭に衝突する事故が多発

◎住宅地にある無信号交差点では、そこを通り慣れた自転車利用者が「ここは交通量が少ないから大丈夫だろう…」と油断しやすく、一時停止を怠って交差点に進入しがちなため、交差道路の車と出会い頭に衝突する危険があります。



自転車利用者の「備え」

交差点を通行する前に一時停止し、交差道路から車がきていないか必ず確認しましょう!

ドライバーの「備え」

交差道路側に一時停止標識がある場合でも、自転車のとび出しを予測し、交差道路の安全を確認しましょう!

事故多発ポイント 3 青信号の交差点

歩行者・自転車と右・左折車が衝突する事故が多発

◎青信号の交差点では、「信号が青だから危険はないだろう…」と油断した歩行者・自転車利用者が周りをよく見ずに横断しがちなため、無警戒に右・左折してきた車と横断歩道上で衝突する危険があります。



歩行者・自転車利用者の「備え」

横断前はもちろん横断中も交差点を広く見渡し、無警戒に右・左折してくる車がないかどうか確認しましょう!

ドライバーの「備え」

横断歩道を渡っている、または渡ろうとしている歩行者・自転車がいないかしっかり確認してから右・左折しましょう!

子どもたちを交通事故から守ってね!

★特に夏休みは、子どもが屋外で活発に行動するようになります。
★ドライバーは子ども特有の危険を理解したうえで慎重に運転し、また、保護者は「とび出し」や「物陰からの横断」がなぜ危険なのかを子どもに理解させ、子どもを事故から守りましょう!

子ども特有の危険

①道路にとび出しやすい…



車は急に止まれません!

②物陰に姿が隠れやすい…



ドライバーが気づかないかも…

③友だちや家族と一緒にだと警戒心が弱まる…



不意に危険な行動をしがち…

夕暮れ時の運転にも要注意!

- 夏は日没時間が遅くなるため、退勤時など交通量が増える時間帯まで遊んでいる子どもが少なくありません。
- 「この時間なら子どもはもういないだろう…」と油断せず、とび出しなどに警戒しながら運転しましょう!